

補助事業番号 2021M-100  
補助事業名 2021年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充 補助事業  
補助事業者名 福岡県

### 1 補助事業の概要

金属積層造形(金属3Dプリンティング/AM)技術はモノづくりのプロセスを大きく変える技術とされ、さまざまな研究開発が行われている。福岡県内企業においても、金属3Dプリンタへの注目度は高く、実用化に向けた期待が高まっているが、装置も材料も非常に高価でありノウハウの蓄積など人材の育成も必要であることから、中小企業が単独で導入することは現実的に困難である。さらに、九州内に金属積層造形装置を保有する公設試験期間が無いことから、当所への設備導入への要望は極めて大きかった。

そこで本事業では、レーザー光によって金属の造形や加工を行うことが可能な金属積層造形装置を導入した。当該設備の導入により、福岡県内中小企業が先進的なものづくりに挑戦できる環境を整備し、企業の抱える技術課題ニーズを高度に解決するための技術支援体制の構築・強化を行うことができた。

### 2 予想される事業実施効果

金属積層造形装置を導入することで、従来工法(切削加工や研削加工など)では実現不可能な形状や構造を実現し、県内中小企業が先進的なものづくりに挑戦できる環境を整備し、技術講演会、企業との共同研究や企業技術者自らが装置を使用する設備利用など、様々な企業向けサービスを通して、企業の課題解決や高付加価値製品の開発を支援する。これらの取り組みを継続的に実施することで、本県が推進している自動車産業、航空宇宙産業参入に向けた製品開発力を県内中小企業が蓄積し、産業振興に貢献することができる。

### 3 本事業により導入した設備

#### ○金属積層造形装置

(URL)

[http://www.fitc.pref.fukuoka.jp/kigyo\\_shien/setsubi/meri/seisan/kinzokusekisuozoukei.htm](http://www.fitc.pref.fukuoka.jp/kigyo_shien/setsubi/meri/seisan/kinzokusekisuozoukei.htm)

本設備は、レーザー光によって金属の造形や加工を行う「金属3Dプリンタ」です。

造形方式として「LMD(レーザー・メタル・デポジション)方式」を採用しており、ベースプレート上への造形に加え、既存の金属部品への付加造形や欠損した部品などの補修を行うことができます。



設置場所：【福岡県工業技術センター機械電子研究所】

②本事業に係る印刷物等

なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 福岡県工業センター機械電子研究所

(フクオカケンコウギョウギジュツセンターキカイデンシケンキュウシヨ)

住所： 〒807-0831

福岡県北九州市八幡西区則松3-6-1

代表者： 所長 小野 幸徳 (オノ ユキノリ)

担当部署： 生産技術課 (セイサンギジュツカ)

担当者名： 山田 泰希 (ヤマダ タイキ)

電話番号： 093-691-0260

F A X : 093-691-0252

E-mail : yamada-t@fitc.pref.fukuoka.jp

U R L : <http://www.fitc.pref.fukuoka.jp/>